

齊藤選手五、〇〇〇メートルで三位に入賞



# スピード パイピングリンクの成果

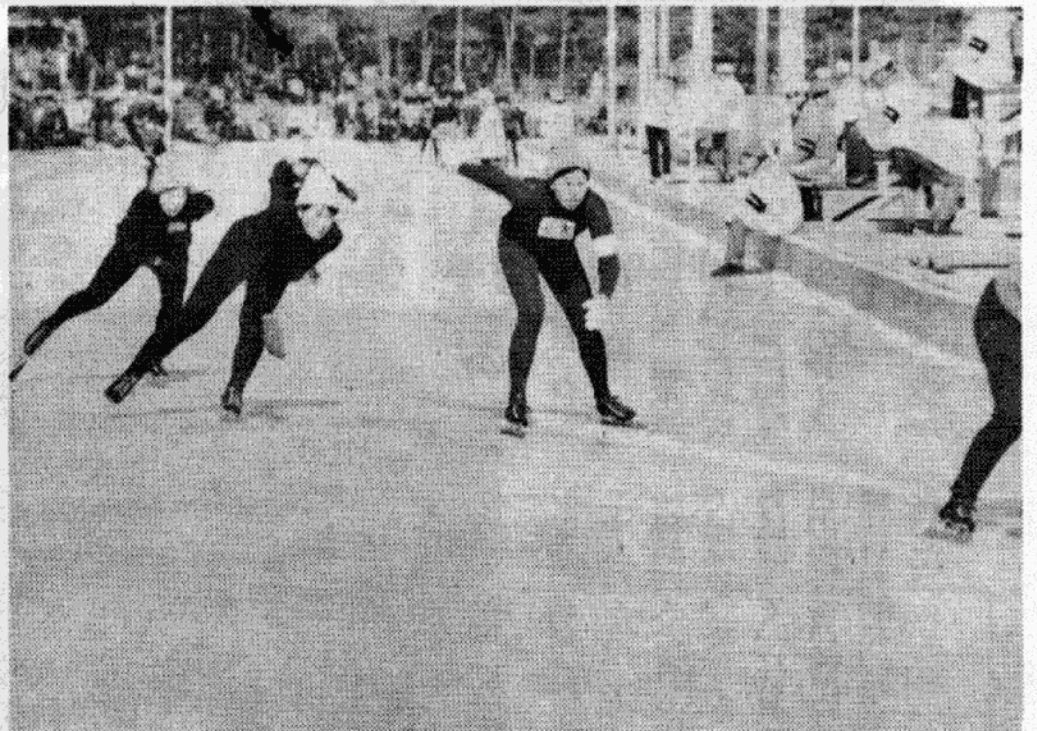
## 日本記録・大会記録が続出

一月二十一日から二十九日までインターハイ、国体と大会ムード一色にぬりつづされた中に市内の各スケートリンクにおいて熱戦が展開されましたが、とくにスピード競技の会場になった日光スケートセンターでは好記録が続出しました。

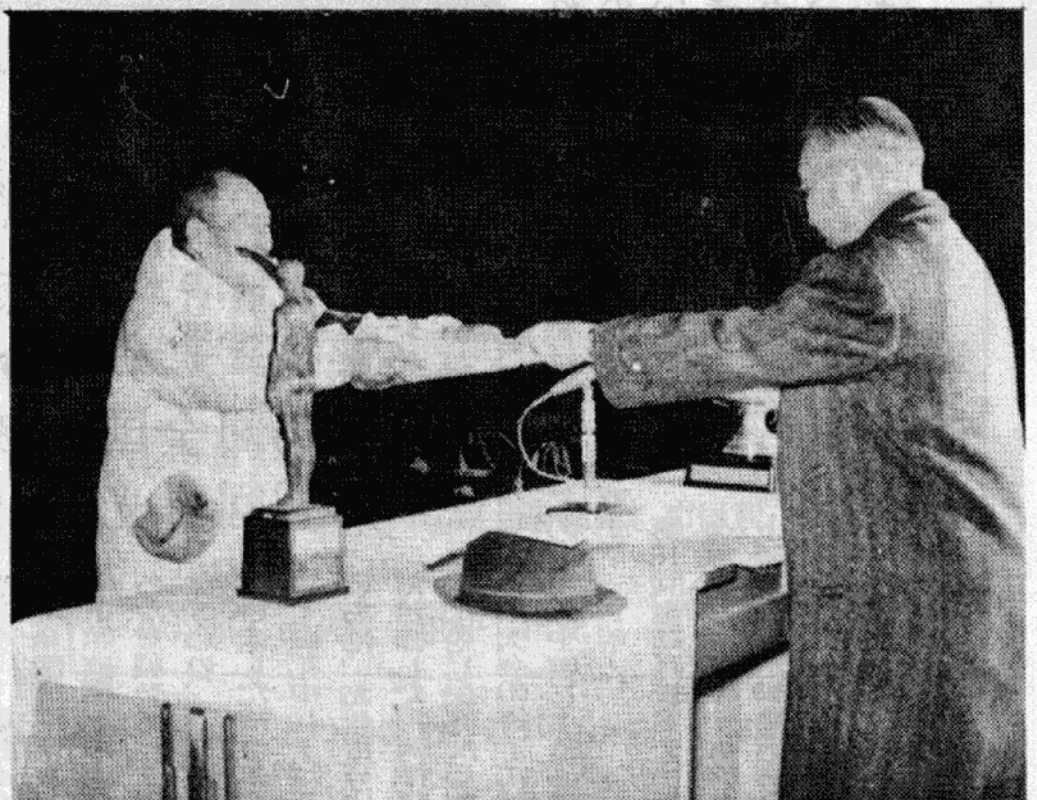
まず、インターハイでは日本新記録二、日本タイ記録一、大会新記録九、大会タイ記録二、高校新記録六、高校タイ記録一また、国体では大会新記録が実に三一、大会タイ記録が一という文字どおりの記録ブッシュ。体位が上がっていることもありますが、リンクコンディションがよかったことも、このように好記録が続出した原因になっているのではないのでしょうか。

## 地元選手の成績

国	体
○スピード	○フィギュア
▼高校男子 500m	▼高校女子
③大島康男 (日高)	⑫後藤幸子 (日高)
⑥今泉一男 (〳)	⑭松岡さかえ (〳)
▼高校男子 1,500m	⑯中田佐代子 (〳)
①大島康男 (日高)	▼一般女子
▼高校男子 5,000m	⑳手塚千代子
③齊藤久雄 (日高)	
⑧星 光一 (〳)	インターハイ
▼一般男子 1,500m	○スピード
⑥佐々木松徳	▼男子 500m
▼一般男子2000mリレー	⑥大島康男 (日高)
⑧榎木 (牧島勉、田代裕、大高政記、佐々木松徳)	▼男子 1,500m
▼一般女子 500m	⑧大島康男 (日高)
⑦齊藤春江 (日高)	▼男子 5,000m
▼一般女子 1,000m	⑦小平 博 (日高)
⑥上尾栄子 (日高)	▼男子 10,000m
▼一般女子2000mリレー	⑥齊藤久雄 (日高)
⑧榎木 (江連悦子、君島民子、上尾栄子、齊藤春江)	▼女子 500m
○ホッケー	⑥齊藤春江 (日高)
▼高校	▼女子 1,500m
準優勝 榎木	⑥齊藤春江 (日高)
(北海道7対3榎木)	○ホッケー
▼一般	3校とも2、3回戦で惜敗 (準々決勝)
3位 榎木	日高対駒沢大附属苫小牧高 (準々決勝)
(準決勝 北海道4対3榎木)	今高対八戸高 (2回戦)
	作新学院対苫小牧東高
	○フィギュア
	▼団体女子
	①日高 (後藤幸子、松岡さかえ、中田佐代子)



一般女子スピードで健闘の齊藤春江選手



総合で5位に入賞 竹田会長から天皇杯を受ける星团长